

基本目標1 市の強みを活かした安定した雇用の創出

基本目標に対応した数値目標	有効求人倍率 H30(1.18)⇒R6(1.2以上)※4月～3月の平均値	R3:1.05 (R2:0.91)
---------------	--------------------------------------	-------------------

施策	主な取り組み	取り組みの方向性	具体的事業	KPI	令和2年度実績値	令和3年度実績値	進捗状況
企業誘致と就職支援	企業誘致・既存企業の支援	東京圏からの交通の利便性、豊かな自然環境などを生かし、市内未利用地への企業誘致を図ります。また、すでに市内で稼働している企業が活動しやすいよう要望の把握やサポートに努めます。	製造業水道使用料金補助事業 企業誘致推進事業 企業誘致雇用促進奨励補助事業	①既存企業の増設・新規企業誘致件 8件(5か年分の累計) ②柏原工業団地の企業数 45件→45件(現状維持)	① 3件(増設) ② 45社(現状維持)	① 2件(累計:5件) ② 44社	○ △
	就職しやすい環境づくり	企業説明会などによる地元企業の魅力発信を行い、採用難傾向にある企業の人材確保に資するとともに、若年層の将来の選択肢を地元を広げます。また、地元企業による就職説明会の実施や就業環境の向上を図ることによって、就業と採用のニーズのマッチングを行い、就職を支援します。	就職支援事業	①就職支援による就職者数 11人(R1)→15人(5年後) ②面接会及び企業説明会への参加人数 57人(H28)→120人(5年後)	① 9人 ② 216人	① 8人 ② 136人	△ ○
	創業支援	創業や新たな産業の育成を図るため、石岡商工会議所・石岡市八郷商工会と連携し、ワンストップ窓口の設置や、創業支援セミナーの開催などの創業支援に取り組みます。	創業支援事業	創業支援計画に定める事業への支援対象者数 24件(5か年分の累計)	7件	16件(累計:23件)	○
農林業の振興による仕事の創出	新規就農(林)者の増加	豊かな自然環境を背景とした有機農業、果樹栽培など特徴ある農業を継続発展させるため、意欲ある就農者の育成、法人等の誘致を進めます。	新規就農者支援対策事業 朝日里山ファーム管理事業	新規就農者数 40人(5か年分の累計)	10人	13人(累計:23人)	○
	既存農(林)業者の経営環境改善	イノシシやカラスなどの獣害対策や耕作放棄地対策、農地集約や森林経営管理による経営強化などに取り組み、既存の農(林)業者の経営環境の安定を目指します。	鳥獣被害総合対策事業 耕作放棄地再生利用事業 農地中間管理事業 林業振興事業	市の施策による耕作放棄地再生数 1,000a(5か年分の累計)	249a	364a(累計:613a)	○
	農産物のブランド化・6次産業化の推進	「儲る農業、持続可能な農業」の実現に向け、高品質な農作物のブランド化を行います。また豊富な農作物を活かし、商品開発、販売促進に取り組み、産地の活性化、農業分野の雇用拡大を図ります。	農力アップ推進事業 果樹・園芸の産地改革事業 6次産業化推進事業	高品質の商品や加工品づくり 5品(5か年分の累計)	1品(酒粕アイス)	1品(柿ジェラート) (累計:2品)	○
商業の振興と中心市街地の活性化	まちづくりの担い手の育成	市民のまちづくりへ参画意欲や気運醸成のため、まちづくりの担い手育成に取り組みます。	中心市街地活性化事業	サマーフェスタ・いしおか雑巡り来場者数 17,000人(H30)→18,000人(5年後)	サマーフェスタ:中止 いしおか雑巡り:展示のみ	サマーフェスタ:中止 いしおか雑巡り:展示のみ	—
	空き店舗の活用促進	中心市街地の賑わい再生のため、空き店舗を活用した新規出店の促進や、多世代交流施設の整備による魅力的なまちづくりに取り組みます。	創業支援事業 多世代交流施設整備事業	都市機能誘導区域内での空き店舗活用件数 5件(5か年分の累計)	0件	0件(累計:0件)	△

**【進捗状況の評価基準】**  
 「○」 順調に進捗 (目標値達成に向けた進捗状況及び前年度実績値との比較により、目標達成に向かっていないもの、上昇傾向にあるものについては「○」)  
 「△」 一層の取り組みが必要 (目標値達成に向けた進捗状況及び前年度実績値との比較により、目標達成に向かっていないもの、下降傾向にあるものについては「△」)  
 「—」 評価せず (取組の中止等により、進捗状況が図れないものについては「—」)

○: 順調に進捗	6
△: 一層の取り組みが必要	3
—: 評価せず	1

基本目標2 市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる

基本目標に対応した数値目標	観光入込客数 145.6万人(H30)⇒175万人(5年後)	R2:59.9万人 (R1:147.2万人)
	移住者数 一人⇒500人(5年後)	R3:105人 (R2:94人)

施策	主な取り組み	取り組みの方向性	具体的事業	KPI	令和2年度実績値	令和3年度実績値	進捗状況
交流人口の拡大	観光資源の魅力向上	地域資源を活かした観光メニューやおもてなし機能の充実を図るとともに、先導的な景観形成、魅力ある観光施設の整備などによって観光の振興に取り組みます。また、海外からの観光客受け入れを進めるため、観光施設の多言語化など受け入れ環境の改善を図ります。	茨城県フラワーパーク・ふれあいの森リニューアル事業 滞在型観光施設整備事業 国際観光推進事業 景観形成事業	①いばらきフラワーパーク来客数 220千人(H30)→270千人(5年後) ②石岡のおまつり来客数 503千人(R1)→ 600千人(5年後)	① 19千人 (R2.4~R2.6実績) ※R2.6.22~リニューアル工事に伴う休園 ② 0人(延期)	① 208千人 ※R3.4.29~リニューアルオープン ② 0人(延期)	△ —
	観光情報発信事業	里山文化を活かした交流や体験、歴史や文化を活かしたまちなか観光など、本市の魅力を広くPRします。特に、台湾をはじめとした海外への情報発信に取り組み、さらなる観光入込客数の増加と地域の経済活性化を図ります。	観光PR事業 海外向け情報発信の強化 観光情報誌の発行 山車獅子位置情報の提供 東京圏魅力PR事業	①海外向けの情報発信でのPR回数 1回→3回(年間実施回数) ②インバウンドファムツアーの参加者数 75人(5か年分の累計) ※インバウンドファムツアー:海外の旅行関係者や旅行メディア等による視察ツアー。海外観光客の誘致につなげる。	① 3回 ・多言語版映像コンテンツ ・多言語版石岡のおまつりガイドブック ・石岡駅インバウンド観光案内板 ② 0人(中止)	① 1件 ・観光施設用PR動画作成 ② 0人(中止)(累計:0人)	△ —
	広域観光の推進	近年観光客の増えている筑波山や、新たな観光客の玄関口となっている茨城空港、そしてナショナルサイクルルートの認定を受けたつくば霞ヶ浦りんりんロードなどを起点に、県や近隣市町村と連携・協力し、互恵的な広域周遊観光メニューをさらに充実させます。	周遊観光ルートの開発 自転車活用推進事業 ジオパーク推進事業 観光振興・地域活性化にむけた道路整備	観光入込客数 145.6人(H30) → 175万人(5年後)	147.2万人(R1)	59.9万人(R2)	△
	地域ブランドの確立とPR	里山文化、歴史資源、食、酒、工芸等の魅力を認知し、興味・関心を抱いてもらえるよう、石岡ブランドの確立とPRを図ります。	飲食店・土産品等の拡充 石岡セレクト認証事業	石岡セレクト登録数 20件(5か年分累計数)	17件	7件(累計:24件)	○
関係人口の増加及び本市への移住の推進	東京圏との交流と関係性の深化	地域資源・地域産業を活かした田舎体験やふれあい交流のほか、スポーツをはじめとした各種イベント等を実施し、東京圏の子どもから学生・高齢者まで幅広く交流を行います。また、単なる交流から内容を発展させ、継続性を持たせることで関係性の深化を図り、二地域間居住や移住の促進を図ります。	東京圏交流推進事業 東京圏の小学生の自然体験受け入れ事業 滞在型観光施設整備事業	東京圏からの田舎体験ツアー等の参加者 540人(5か年分の累計)	0人(中止)	1人(実地開催中止) (累計:1人) ・申込者10人、実地開催は中止し、オンラインで実施により1名参加	—
	通勤・通学に対する支援	本市は、都心から近距離にあり、JR常磐線や高速バスなどの交通手段が充実しています。これらの強みを活かし、転出の抑制と移住の促進を図るため、通勤・通学しやすい環境づくりに取り組みます。	通勤通学費用助成事業	支援により転出抑制につながった人数 50人(5か年分の累計)	43人	49人(累計:92人)	○
	地域おこし協力隊	本市の豊かな地域資源、地域産業を活用した田舎体験やふれあい交流などの各種の地域協力活動や地域の魅力発見、地域ブランドの向上などの活動に従事していただきながら、当該地域への定住・定着を図ります。	地域おこし協力隊活動支援事業	地域おこし協力隊員数:10人(5か年分の累計)	2人 ・茅葺技術分野 ・スポーツツーリズム分野	1人(累計:3人) ・獣害対策分野	○
	空き家の利活用	居住環境の整備改善や地域の活性化、定住の促進に資するために、空き家等の利活用に取り組みます。	空家バンク活用促進助成事業	空家バンク通算登録件数:5件 → 30件(5年後)	12件	19件	○
	定住促進に係る住宅への助成	定住の促進に資するために、市内に住宅を建築する市民や若い世代の転入者に対する支援に取り組みます。	木の住まい助成事業 住まいづくり推進事業	市内における持家の着工件数 187件(H30)→200件(5年後)	178件	185件	○

**【進捗状況の評価基準】**  
「○」 順調に進捗 (目標値達成に向けた進捗状況及び前年度実績値との比較により、目標達成に向かっていないもの、上昇傾向にあるものについては「○」)  
「△」 一層の取り組みが必要 (目標値達成に向けた進捗状況及び前年度実績値との比較により、目標達成に向かっていないもの、下降傾向にあるものについては「△」)  
「—」 評価せず (取組の中止等により、進捗状況が図れないものについては「—」)

○: 順調に進捗	5
△: 一層の取り組みが必要	3
—: 評価せず	3

基本目標3 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる

基本目標に対応した数値目標	合計特殊出生率 1.35(H20～24)⇒1.65(R6)	R3:1.44 (H25～H29数値)
	(参考)千人当たり出生率 6.2(H29)	R3:5.8 (R1数値)

施策	主な取り組み	取り組みの方向性	具体的事業	KPI	令和2年度実績値	令和3年度実績値	進捗状況
結婚しやすい環境づくり	出会いの場提供	結婚の意欲はあるけれど出会いの機会が少ない独身男女に出会いの場を提供し、結婚のきっかけづくりに取り組みます。県及びいばらき出会いサポートセンターとの連携により新たなきっかけづくりの場の創出を促進します。	広域的な結婚支援事業 結婚相談所運営事業 民間団体等と連携した結婚支援事業	①出会いの場の提供による婚約成立数 16組(H26～H30累計) → 20組(5か年分の累計) ②いばらき出会いサポートセンターとの連携事業の実施 20件(5か年分の累計)	① 1組 ② 1件 予定していた事業の一部中止	① 1組 (累計:2組) ② 1件 (累計:2件) 予定していた事業の一部中止	○ -
	結婚後住みよい環境づくり	結婚後に安心・快適な生活を送り、継続的に本市に住んでもらう機運を育てるための新婚世帯への生活支援の他、未就学児のいる子育て世帯への生活支援に取り組みます。	子育て世帯及び新婚世帯新生活支援事業	①新婚世帯家賃助成件数 700件 (5か年分の累計) ②子育て世帯家賃助成件数 120件 (5か年分の累計)	① 112件 ② 15件	① 70件(累計:182件) ② 10件(累計:25件)	△ △
安心して妊娠出産ができる環境づくり	安心できる妊娠出産環境の整備	不妊治療費用の一部助成や、妊娠期から子育て期にわたる支援の体制整備を行い、安心して妊娠・出産できる環境を整備します。	不妊治療費助成事業 妊婦へのタクシー利用補助事業 子育て世代包括支援センター事業 産後ケア事業 地域医療対策事業(産科の新設)	①不妊治療助成件数 300件 (5か年分の累計) ②市内の産科数 0件 → 1件 (5年後)	① 87件 ② 0件	① 90件 (累計:177件) ② 0件	○ △
	育児休業や職場復帰を後押しする環境づくり	育児休業や育児短時間勤務などのワークライフバランスの実現に向けて取り組む企業を支援し、市内企業の働く環境の改善に取り組みます。	関係団体と連携した啓発活動 ワーク・ライフ・バランス推進補助事業 子育て応援企業等の情報発信	くろみん認定企業数 2社 → 6社(5か年分の累計)	2社(現状維持) ・新規認定企業 0社	2社(現状維持) ・新規認定企業 0社	△
子育て支援の充実	子育て費用の軽減	国・県の制度を活用しつつ、子どもの育成に係る費用を支援することにより、子育てしやすい環境を整え、少子化の抑制に取り組みます。	子育て費用の軽減	すくすく赤ちゃんクーポン事業助成件数 2,500件(5か年分の累計)	400件	358件(累計:758件)	△
	保育環境の充実	就業や家族形態の変化に伴い多様化する保育需要への対応のほか、情操教育や発達支援など、健全な成長を支える子育て支援を実施し、安心して子どもを育てられるまちづくりを目指します。	保育環境充実事業 放課後児童対策事業 子育て世代包括支援センター事業	「子育て環境の充実」に対する満足度 (5点満点)3.5ポイント(5年後)	3.05ポイント	3.03ポイント 【参考】 市民意識調査による回答(R3) ・石岡市で子どもを産み育てたいと思う市民の割合(10代～40代):53.0% ・不安なく子どもを育てやすい地域だと感じる市民の割合:50.6%	△
教育環境の充実	地域における子育て環境の充実	少子化に伴い、地域の子育て環境の維持が課題となっています。気軽に遊びに行ける遊び場の維持や、子どもを軸とした多世代交流の促進を支援します。	地域の遊び場充実事業 児童健全育成施設運営事業 子育て支援センター運営事業	いいききプラン事業年間実施回数 230件 (年間実施件数)	176件	56件	△
	特色のある教育の充実	児童生徒の「生きる力」を支える確かな学力、豊かな心、健全な体を培い、「未来の担い手」として活躍できる人材の育成に取り組みます。	学校いいききプラン推進事業 語学指導事業 ICT環境整備事業 低所得世帯を対象とした学習支援事業				

**【進捗状況の評価基準】**  
 「○」 順調に進捗 (目標値達成に向けた進捗状況及び前年度実績値との比較により、目標達成に向かっていないもの、上昇傾向にあるものについては「○」)  
 「△」 一層の取り組みが必要 (目標値達成に向けた進捗状況及び前年度実績値との比較により、目標達成に向かっていないもの、下降傾向にあるものについては「△」)  
 「-」 評価せず (取組の中止等により、進捗状況が図れないものについては「-」)

○: 順調に進捗	2
△: 一層の取り組みが必要	7
-: 評価せず	1

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心で心豊かな暮らしを守る(その1)

基本目標に対応した数値目標	要支援・要介護認定者率 18.9%(R6見込値)⇒18.0%(5年後推計)	R3:16.34% (R2:16.5%)
	現在の場所に住み続けたい市民の割合 73%(R1)⇒80%(R6)	R3:78.8% (R2:77.8%)

施策	主な取り組み	取り組みの方向性	具体的事業	KPI	令和2年度実績値	令和3年度実績値	進捗状況
生涯現役の推進	高齢者の社会参加の充実	高齢者が生きがいをもって生涯現役として過ごせるよう、社会活動に参加しやすくするなど、活動機会の拡大支援に取り組みます。	生涯現役プラチナ応援事業	生涯現役プラチナ応援カード登録者数 5,258人(R1)→8,200人(5年後累計)	5,654人	3,358人(実登録者数) 令和3年度に全登録者の確認を実施。 (転出者や死亡者、二重登録者を除いた実登録者数とした。進捗状況については、R3数値を基準として、来年度改めて確認)	—
	介護予防の取組	高齢者が自立した生活を送れるよう、要介護等の状態になることを防ぐ介護予防の観点から、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。	地域支援事業 シルバーリハビリ体操指導士養成事業 在宅高齢者サービス事業 地域包括支援センター運営事業	シルバーリハビリ体操指導士3級養成者数 155人(R1)→累計255人(5年後)	累計養成者数 155人 (現状維持) (養成講座中止)	累計養成者 174人 (新規養成者:19人)	○
ふるさと愛の醸成	ふるさと学習の推進	全国に発信できる本市の魅力を市民が実感できる、「地域の魅力再発見」に関するイベントの開催や小中学校における校外学習等への取込などを実施します。	ふるさと学習推進事業 常陸国分寺跡・尼寺跡の保存活用	いばらきっ子郷土検定「石岡市大会」のテスト 平均点 70点	45点 (平均正答率44.57%) ・出題傾向の変化により、平均点が下落	60点 (平均正答率59.74%)	○
	市内外へ向けた地域の情報発信の充実	本市への誇りと愛着を育み、本市をより良くするために自分自身が関わっているという自尊心「シビックプライド」を醸成するため、まちで活躍する人を取材し、広報紙や市HPで発信していきます。	広報活動の充実 MIPPEの内容の充実	MIPPEの閲覧数 4,900件(年間閲覧数)	4,037件	4,084件	○
安全安心な生活環境の維持・向上	地域コミュニティ(自治会等)の活性化	将来的な持続及び活動充実に図るため、これまでの地理的枠組みにこだわらない、各公益活動団体の連携を促進し、かつ地域による安全安心の確保、ふれあい交流の促進、子どもたちの健全育成を支援します。	地域における各公益活動団体等の連携支援 地域コミュニティへの支援	地域における公益活動団体等の連携数 10件(5か年分の累計)	0件 (行事等の中止)	0件(累計:0件) (行事等の中止)	—
	移動手段の検討	人口減少や高齢化によって移動制約者の増加が懸念されています。誰もが快適に移動できるよう、公共交通のあり方を検討していくことに加え、公共交通不便地における移動手段の確保についての取組や支援を進めていきます。	地域交通対策事業 次世代交通システムの検討 バス専用道における自動運転実用化の推進 高浜駅周辺の利便性の向上 自転車活用推進事業	市内主要公共交通機関利用者数(1日当たり) 8,000人(5年後)	7,322人	5,344人	△
	安全安心なまちづくり	少子高齢化及び人口減少社会の到来を踏まえ、地域で安全・安心に生活できる環境の維持や充実に努めます。	交通安全施設整備事業 安全・安心まちづくり推進事業 空き家等対策事業 防災対策関連事業 消防救急、消防団等の充実	①交通事故発生件数(千人あたり) 2.79件(H30)→2.51件(5年後) ②刑法犯認知件数(千人あたり) 9.36件(H30)→8.43件(5年後)	① 2.08件 ② 5.79件	① 2.17件 ② 4.48件	○ ○
	地域医療体制の再構築	石岡地域に必要な医療体制の整備を図り、当該地域の住民が安心して暮らすことができる環境づくりを目指します。	地域医療対策事業(産科の新設や小児科・緊急診療等の充実など、石岡地域に必要な医療体制の再構築)	病院の再編統合等 1件(5年後)	0件	1件 (小児科救急診療の開始)	○
協働の推進	協働のまちづくり	少子高齢化や人口減少の進展など社会情勢が大きく変化するなか、多様化する市民ニーズに応えていくため、市民・団体・事業所・学術機関等と市が連携、協力したまちづくりに取り組みます。	協働まちづくり推進事業 石岡未来会議オンライン等の開催	市と連携しているしている団体の数 110団体→120団体(5年後)	108団体	110団体	○

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心で心豊かな暮らしを守る(その2)

施策	主な取り組み	取り組みの方向性	具体的事業	KPI	令和2年度実績値	令和3年度実績値	進捗状況
行財政改革の推進	公共施設総合管理計画の推進と公共インフラの適切な管理	公共施設等の有効活用と改善を図る「公共施設等総合管理計画」を策定し、長期的な視点から、公共施設等の更新・統廃合・長寿命化等を推進します。	公共施設等総合管理計画の策定と推進 公共インフラの適切な管理	施設総量(延床面積)、20%削減(令和38年度) ⇒投資的経費(公共施設分、今後10年) 23.0億円/年	—	※1年単位では表示せず 計画目標を踏まえ展開される集約化、複合化事業の完成までには1事業あたり数年間要することから、1年単位での事業評価せず。	—
	先進技術を活用した効率的な行政運営	RPA(ロボットによる業務自動化)やAI-OCR(自動学習による文字認識)の導入、ドローンの活用などにより効率的な行政運営や業務改善に取り組みます。	先進技術の導入・推進事業	先進技術導入により削減が図られた業務時間割合 ツール導入後の時間削減率 50%	48.25%	46.4% ・利用促進のためのシステム活用事例の情報集約・事例紹介等、能動的な技術的支援の実施	○
	健全な行財政運営	限られた予算と人員で最大限の効果を上げられるよう、職員の資質向上を図るとともに、行財政改革大綱に基づき、持続可能な行財政運営の確立を進めます。	行財政改革の推進 財政健全化の取組	石岡市行財政改革大綱実施計画の達成率 100%(令和3年度)	95.7%	95.7% (44/46達成済) 行革効果額81.2億円以上	○

**【進捗状況の評価基準】**  
 「○」 順調に進捗 (目標値達成に向けた進捗状況及び前年度実績値との比較により、目標達成に向かっていないもの、上昇傾向にあるものについては「○」)  
 「△」 一層の取り組みが必要 (目標値達成に向けた進捗状況及び前年度実績値との比較により、目標達成に向かっていないもの、下降傾向にあるものについては「△」)  
 「—」 評価せず (取組の中止等により、進捗状況が図れないものについては「—」)

○：順調に進捗	9
△：一層の取り組みが必要	1
—：評価せず	3